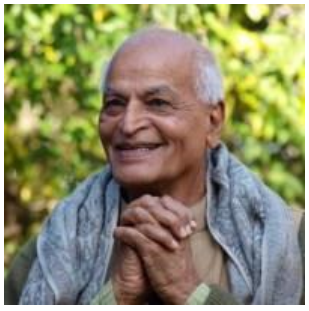
# 主要ゲスト紹介

## ヘレナ・ノーバーグ＝ホッジ

スウェーデン出身。1975 年、インド・ラダック地方への外国人の入域が許可された後の最初の訪問者の一人。言語研究者として長期滞在、ラダック語の英語訳辞典を制作。以来、ラダック文化とそこに暮らす人々に魅了され、毎年ラダックで暮らすようになる。急速に進む開発とそれに伴う文化と自然環境の破壊を憂い、現地の人々と共に、ラダックの持続可能な発展を目指すプロジェクト LEDeG (The Ladakh Ecological Development Group)を創設。この活動が評価され、もう一つのノーベル賞として知られる、ライト・ライブリフッド賞を 1986 年に受賞。
40 カ国以上で訳された著書『ラダック　懐かしい未来』は世界中で大きな影響を与えた。またグローバリゼーションを痛烈な批判し、ローカリゼーションへの筋道を示した映画『幸せの経済学』を制作、以後、「ローカル・フューチャーズ」を設立し、「しあわせの経済」会議を世界各地で開催、国際ローカリゼーション運動の最先頭に立つ。



## サティシュ・クマール

1936 年インド生まれ。９歳でジャイナ教の修行者となり、18 歳で還俗。マハトマ・ガンディーの非暴力と自立の思想に共鳴し、２年半かけて核大国の首脳に核兵器の放棄を説く１万４千キロの平和巡礼を行う。1973 年に英国定住。40 年にわたってエコロジー＆スピリチュアル雑誌「リサージェンス（再生）」の編集長を務める。また「スモール・イズ・ビューティフル」の著者として知られる経済学者 E・F・シューマッハー、とガンディー、タゴールらの思想を引き継ぐ大学院大学「シューマッハー・カレッジ」を創設。世界中で講演を行い、Soil(土)Soul(心)Society(社会)の 3S の大切さを伝えている。日本語の著書『君あり故に我あり』(講談社)、『サティシュ・クマールのゆっくり問答』（素敬パブリッシング）、『人類はどこへいくのか』(ぷねうま舎)、他多数。DVD に「サティシュ・クマールの今、ここにある未来」（ゆっくり堂）。

## ジョージ・ファーガソン

2012 年 11 月にブリストル市長に選出。建築家、環境活動家及び社会実業家としての経歴を経て、市長選に無所属で立候補し選出されたイギリス初の市長。 ブリストル市は 2015 年度の「ヨーロッパ・グリーン・キャピタル」に選ばれ、ヨーロッパで最も住みやすく創造的な都市として世界に知られるようになった。都市とコミュニティの再生と持続可能な地域づくりにおいて、世界的なオピニオン・リーダーとして知られる。2010 年には建築とコミュニティへの貢献が認められ、大英帝国勲章を受章。